

# ペッパー、児童と交流

下野の国分寺東小の技術に驚き「人のよう」



ペッパーとの触れ合いを楽しむ児童たち

この日は1〜6年生約260人が参加。市総合政策課職員が導入の狙いなどを説明し、児童代表者が内蔵されているアプリケーションを体験した。ペッパーが世界の都市の時刻を答えたり、アイドルグループ「AKB48」の「ヘビーローテーション」のダンスを披露したりすると、歓声と拍手がわき起こった。

6年潮田菜々星さん(12)は「人間のようによべるので驚いた。多くの人に市のことを紹介してほしい」と期待を込めた。

(井上裕史)

【下野】市が「市シティプロモーション特命課長」として任命したヒト型ロボット「Pepper」(ペッパー)が21日、国分寺東小を訪問し、児童たちと触れ合った。

市が取り組む地方創生事

業を紹介するとともに、世界から注目されるロボット技術を子どもたちに体験してもらおうのが目的。来年2月までに市内全小中学校を訪問する予定で、同校が初回となった。